

Rapport (ラポール) とは、仏語で「信頼と親愛の絆」を表しています。  
多摩大学広報紙「Rapport」は、多摩大学と多摩大学サポーターをつなぐ  
コミュニケーション紙です。

発行者/多摩大学 発行日/2016年12月30日  
東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1 TEL:042-337-1111 FAX:042-337-7103  
<http://www.tama.ac.jp/>

# Rapport

2016  
Number

096

多摩大学 | 広報誌 |

## Vol.96 Contents

経営情報学部 2016年度 春学期 褒賞者 .....	02
アクティブ・ラーニングプログラム「地域中堅企業研究in 高山・岐阜」.....	03
第28回 多摩祭 .....	04
SGS Festa 10th .....	05
キャリアサポート(インターンシップ発表会・多摩“志”企業探検バスツアー・学内エアライン講座).....	06
経営情報学部 後援会 就職セミナー 開催報告 .....	07
News .....	07
第41回 全国経営学部長会議 開催報告 .....	08
藤沢市・昆明市友好都市提携35周年記念事業 .....	08

# 経営情報学部 2016 年度 春学期 褒賞者

多摩大学経営情報学部では、学業や社会活動において優れた業績を上げた学生を褒賞する制度を設けています。

## 【多摩大学経営情報学部 褒賞制度内容】

褒賞名	褒賞内容
最優秀学生賞 (Best Academic Achievement Award) ※	大学在学中 4 年間を通じて総合的に最も優秀な成績を収めた卒業予定者 5 名及び本学学生として模範的行為のあった者若干名
成績優秀学生賞 (Academic Achievement Award of the semester)	成績優秀者奨学金受給学生に該当する者
優秀学生賞 (Academic Achievement Award)	各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生 (各科目 1 名)
	教育補助 (SA) として著しい功績があった者
	成績向上が顕著な者 (GPA の向上等を基準)
学長賞及び学部長賞 (President's Award, Dean's Award) ※	学業に対する取組みが真摯で他の模範となる者
	本学学生として模範的行為のあった者または団体
社会・研究活動賞 (Outstanding Achievement Award in Research and Social Activities)	コンテスト等において優秀な成果をおさめた者または団体
	課外活動で全国大会に出場する等顕著な成績をおさめた者または団体
	在籍期間を通じて学生会等の活動にて特に貢献のあった者
	優れた研究成果又は論文を発表した者または団体

※年度末に実施

## 【2016 年度 春学期 成績優秀学生賞 [成績優秀者奨学生]】

学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の規範となる学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

### ■ 1 年次

#### ・区分 1

学生氏名
藤山 拓海

#### ・区分 2

学生氏名
和泉 遼
及川 雅貴
菊池 裕輝也
栗原 萌
中島 麻莉奈
中野 花
行木 智哉
野田 航平
浜崎 周平
早川 礼奈
二口 龍之介
松田 活明
宮城 日向
宮澤 隆夫
山口 知徳
山口 雅弘
山村 香織
渡邊 健史
渡部 稜

### ■ 2 年次

#### ・区分 1

学生氏名
荒井 綺花

#### ・区分 2

学生氏名
五十嵐 涼
伊槻 裕紀
上杉 秀一
奥原 れいな
笠原 敏幸
紙谷 祐輔
川田 浩大
坂本 孝太
坂本 尚平
副島 幸奈
高井 悟
坪崎 遥香
早坂 一哉
古橋 明日香
増田 悠斗
茂木 佑馬
山崎 大
横井 光
森部 佳奈

### ■ 3 年次

#### ・区分 1

学生氏名
山崎 啓道

#### ・区分 2

学生氏名
新保 貴之
青木 湊
赤坂 英紀
明田 卓也
井浦 竜
市村 侑己
岩野 元輝
上杉 壽慶
榎本 結香
佐藤 樹
島本 海央
高瀬 和希
田中 優希
内藤 賢汰
濱島 健吾
樋口 裕也
藤田 侑也
水谷 勇希
水野 匠

※学籍番号順



1 年次成績優秀学生賞



2 年次成績優秀学生賞



3 年次成績優秀学生賞



優秀学生賞 1 年生



優秀学生賞 2 年生



優秀学生賞 3 年生

【2016年度 春学期 優秀学生賞】

科目名	※	氏名
English Expression I	1	植草 裕貴
English Expression I	1	野田 航平
ITコミュニケーション入門	1	井上 祐輝
ITコミュニケーション入門	1	行木 智哉
ITコミュニケーション入門	1	野田 航平
ITデザイン I	1	佐藤 樹
ITマネジメント I	1	茅島 佑樹
IT活用法 I	1	野田 航平
IT活用法 I	4	菊池 裕輝也
IT活用法 I	1	馬場 翼
IT活用法 I	1	藤山 拓海
IT活用法 I	1	森部 佳奈
Practical English Conversation I	1	荒井 綺花
Practical English Conversation I	1	山崎 大
TOEIC I	1	KIM SOYEONG
Web サービス開発	1	長岡 葉月
Web デザイン I	1	早坂 一哉
アジア経済論 I	1	山崎 啓道
アメリカ経済論	1	井上 萌
エネルギー・環境論 I	1	青木 湊
キャリア・デザイン I	1	飯田 恭平
キャリア・デザイン入門	1	中野 花
クリエイティブデザイン I	1	河崎 光将
クリエイティブデザイン I	1	増田 悠斗
グローバルエコノミー I	1	坂本 尚平
グローバルエコノミー III	1	赤坂 英紀
グローバルヒストリー I	1	大輪 憲生
グローバルマーケティング II	1	根釜 銀

科目名	※	氏名
スポーツと健康	1	坪崎 遥香
データサイエンス I	1	坂本 孝太
デザインワークショップ I	1	高井 悟
ビジネスコミュニケーション I	1	坂本 尚平
ビジネス数学基礎	1	HUA JINGJUE
ビジネス数学基礎	1	LEE HYOJIN
ビジネス数学基礎	1	山口 雅弘
ビジネス戦略 I	1	上杉 秀一
ビジネス入門 I	1	丸山 将吾
ビジネス入門 I	1	渡辺 満理奈
プレゼミ I	2	濱島 健吾
プレゼミ I	2	藤田 侑也
マーケティング入門	1	菊池 裕輝也
マーケティング入門	1	鈴木 直樹
ミクロ経済学	1	上杉 秀一
ライフ・デザイン	1	山下 圭以太
リサーチ入門	1	山村 香織
海外活動英語コミュニケーション I	1	水谷 勇希
海外活動英語コミュニケーション I	1	山崎 大
韓国ビジネスコミュニケーション I	1	紙谷 祐輔
韓国語 I	1	宮澤 隆夫
韓国語 I	1	森部 佳奈
教育心理学	1	坪 和樹
経営情報論 I	1	山崎 啓道
経営組織 I	1	合屋 有喜穂
現代メディア論 I	1	二宮 悠輝
国際経営入門 I	1	月岡 美笛
国際公共政策	1	内藤 賢汰

科目名	※	氏名
財務会計 I	1	茂木 佑馬
財務管理	1	WU YU CHENG
事業構想論 I	1	副島 幸奈
初級簿記	1	茂木 佑馬
消費心理	1	田村 遥平
情報と職業	1	宮下 真菜
情報と職業	1	井浦 竜
情報探索法	1	野田 航平
多摩学 II	1	五十嵐 涼
地域ビジネスプランニング	1	伊槻 裕紀
地域ビジネスプランニング	1	佐藤 友哉
地域観光論	1	二宮 悠輝
地域産業論 I	1	水谷 勇希
中国ビジネスコミュニケーション I	1	茂木 佑馬
中国経済論	1	金子 奎裕
特別講座 I	1	坂本 尚平
特別講座 I	1	早坂 一哉
文章伝達入門	1	折本 卓巳
文章伝達入門	1	窪田 楓
文章伝達入門	1	浜崎 周平
文章伝達入門	1	渡辺 満理奈
問題解決メソッド I	1	加藤 和浩
問題解決学入門 I	1	保坂 諒
余暇マネジメント I	1	荒井 綺花
立志論 I	1	川村 千夏
立志論 III	1	川田 浩大

◆ 交換留学生

※	氏名
4	He Huatang
4	Yuan Yujian

※	氏名
4	Deng Huimin
4	Wu Yucheng

※印は、カテゴリー

- 1：各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生 2：教育補助 (SA) として著しい功績があった者  
3：成績向上が顕著な者 (GAPの向上等を基準) 4：学業に対する取組が真摯で他の模範となる者

## アクティブ・ラーニングプログラム「地域中堅企業研究 in 高山・岐阜」報告書

多摩キャンパス 教務課 岡崎 麻佑

2016年11月6日～8日の2泊3日のスケジュールにて、アクティブ・ラーニングプログラム「地域中堅企業研究 in 高山・岐阜」に参加してきました。

本プログラムの参加者は、経営情報学部生23名(1年次生～4年次生)、教職員3名の計26名。目的は、高山市の観光振興(高山市商工観光部観光課)及び岐阜市・高山市の中堅企業(株式会社和井田製作所、飛騨産業株式会社、フレッシュフーズ駿河屋、株式会社電算システム、岐阜プラスチック工業株式会社)の現場を訪問し、ヒアリングを行うことで、地域中堅企業から地方創生のあり方、国内産業のあり方および自分自身のキャリア形成のあり方について自主的な研究を行うことです。

本プログラムに参加した学生は、まず学内での事前学習により、高山市の観光課題、また岐阜市・高山市の中堅企業に関する基礎情報を得て、知識及び疑問点を共有するためにグループワークを行い、グループ毎に課題をまとめ、現地での活動に備えました。

現地学習においては自分の足で高山市中心地区を歩き、自分の目で見て感じ、現地の方々との接触により生の声を聞くことで、想像もしていなかったような現地の方々の悩みや現状を知ることができました。それらを踏まえて学生ならではの意見を発表させていただき、高山市商工観光部観光課の方々や高山市の企業の方々と実際に議論を交わすことができました。その中で、高山市商工観光部観光課の高原課長から、高山市は大学がないため、このような若い方々の意見を聞く機会はとても貴重であり、これからの高山市の観光を盛り上げていくためには若

い方々にもっと来てほしいという思いもあるので、今回の意見はとても重要な情報源であるとお話しいただきました。多摩地域と密接な関係にある本学は、ゼミ等を通して多摩地域の方々と接触する機会が多くあるので、多摩地域に若者ならではの感性で大きく貢献できるものと確信しました。

また、岐阜市・高山市における企業訪問では、実は私達の生活にとっても密接した、日本ばかりか世界をも動かす元気な企業が多くあることを知る良い機会となりました。特に印象深かったことは、訪問したどの企業も地元の岐阜という場所を活かすため、地元の人の苦勞を改善するため、地元を活発にするため等の地元への強い思いから事業を開始したことが特徴としてあると感じました。学生達も日本には活発な中堅企業が数多くあることを実感しており、就職活動の際に検討する企業の幅が広がったと話していました。

本プログラムにおいて、多くの方々大変お世話になりました。今後も同様のプログラムが続き、学生が成長できる場を増やしていくことができるように、職員の立場から貢献していきたいと思えます。



2日目フレッシュフーズ駿河屋にて集合写真



3日目株式会社電算システムにて企業説明聴講の様子

# 経営情報学部【多摩キャンパス】 第28回 多摩祭

## グローバルフェスタ 2016 in TAMA

2016.11.12sat-11.13sun

◎多摩大学体育会活動発表

フットサル部

スケート部

◎少年野球教室

### イベント

◎モンゴル相撲大会

- ◎ミニオープンキャンパス
- ◎防衛省 自衛隊展示
- ◎お笑い LIVE
- ◎CUBERS & ZOLA
- ◎動物戦隊ジュウオウジャーショー
- ◎演劇公演サザンクロス
- ◎音楽連合サークル LIVE

◎ビンゴ大会

◎たまパ〜ク

◎彩藤ひろみゼミ-VR体験

◎志賀敏宏ゼミ-瀬戸内茶処

瀬戸内の物産を紹介し、抹茶とお菓子でおもてなし。



★優勝者  
 ◀ミスは 4年 村木一美さん (左)  
 ▶ミスターは 2年 岸 遼太郎さん (右)



◎グローバルファッションショー ミス・ミスターコンテスト

◎グローバル・カフェ



中国・韓国からの留学生が自国のお菓子を販売。

◎中村その子ゼミ-学内放送局 FM TMU 888



◎浜田正幸ゼミ-わたあめ・焼き鳥



◎金美徳ゼミ-焼きそば屋さん



### 模擬店

◎バートルゼミ-中華家庭料理千層餅



◎中庭光彦ゼミ-みっちの焼いん feat 町田のしゅゆ



◎奥山雅之ゼミ-TOKYO X サンドイッチ



◎大森拓哉ゼミ3年-豚汁



### ゼミ発表

◎プレゼミII-研究発表



〈研究テーマ〉「眠り」で多摩地域の人々を元気にする！  
～(株)エムールとの共同研究～



〈研究テーマ〉多摩大学周辺マップセキュリティ・お買い物・絶景コース。

◎プレゼミII-グローバルたて焼き



### サークル

◎科学技術部-活動発表



◎F.E.I.T-活動展示発表



ほーくん  
多摩大学非公認キャラクター

- ◎松本祐一ゼミ-JAGA バー
- ◎大森拓哉ゼミ4年-チョコバナナ
- ◎大森拓哉ゼミ2年-あの日の大森ゼミ
- ◎飯田健雄ゼミ-古本マーケット
- ◎村山貞幸ゼミ-感謝の道
- ◎プレゼミII-カステラまる
- ◎プレゼミII-映画上映・ポップコーン
- ◎プレゼミII-多摩セレクトショップ
- ◎プレゼミII-研究発表  
(多摩大と多摩地域の歴史調査)  
(ラップミュージシャンについての展示)
- ◎プレゼミII-輪投げ
- ◎多摩祭実行委員会有志-ドリンク販売
- ◎ハイブリッドメディア研究会-TRYANGLE
- ◎ゆるかく-サーターアンダギー-専門店の多摩堤通り店派出所
- ◎音楽連合-フランクフルト
- ◎CLUB TIMIS-TIMISクレープ
- ◎ホームゼミ-ゼミの多摩大「ホームゼミ紹介」

### 記念講演・公開講座

〈記念講演〉  
多摩大の「今、そしてこれから」  
久恒啓一副学長(兼)経営情報学部長



〈公開講座〉  
ゲールからみる日本企業の未来 飯田健雄教授  
従来の産業構造を変える企業であるゲール。ビジネスの輪郭を知ることで、企業の未来像を垣間見ていく講義が行われました。

〈公開講座〉  
40代からはじめよう  
ロコモとメタボ対策  
梅澤佳子教授・大澤拓也先生



〈公開講座〉  
キッズイングリッシュ  
「英語で遊ぼう！」  
石川晴子准教授



### ◎ホームカミングデー

2016年度ホームカミングデーを同窓会と共催で開催しました。OB 教員・卒業生・現役教職員が一堂に会して交流を深めました。





# グローバルスタディーズ学部【湘南キャンパス】

# SGS Festa 10th

## 世界の10周年

2016.11.12sat-11.13sun

### イベント

- 六会中学校吹奏楽部演奏会
- 日本大学落語研究会
- ビッグ錠講演会&ゆるキャラまつり
- ナーメアフラオクナオカラー
- ニューヨークお笑い公演
- 星影優斗&小林唯ライブ
- Perfect Gift
- サークル演奏
- ピンゴ大会
- バクステ外神田一丁目
- 太鼓演奏「響」
- Shout it Out
- 上田比呂志講演会
- 保護者説明会



アゴラにて Study abroad の 展示発表。



●SPIRITUS

学生会とテニスサークルが 合同で今年初めて出店。 ニュージーランドや ブラジルの珍しい お酒などを 提供。



●田中孝枝ゼミ

お酒のおつまみを販売。



●B4- ホットク



●受付・本部



●B2- からあげ

### 模擬店

●B1- タビオカ

●B3- トッポギ

●C2- 焼き鳥

●C3- タコス

### ゼミ・サークル

●Creation



メルヘンをテーマに小説・イラストなどを制作。掲載した 冊子を頒布。

●バドミントン



●A1- ケイククエイ



●C1- ミネストローネ



●REALIZE



留学生も所属する地域貢献サークル。藤沢市 観光協会の公式FBの運営など学区外で活動。

●小松加代子ゼミ



日本人の怪異についての考え方を宗教感とともに研究。京都のお寺や神社を取材した研究成果を展示発表。

●カフェテリア



海外で住居建築を手伝う ボランティアサークル。

●C4- フォー



8名の部員が講師の先生の指導で週1回活動。

●茶道部

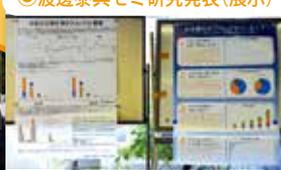


●Study abroad cafe



留学カフェ。左二人はご近所の方、留学生、職員。

●渡邊泰典ゼミ研究発表(展示)



### 活動報告・発表・ディベート

#### Zion's Club 活動報告

2013年発生の台風被害にあった方々のために2016年夏、フィリピンパンタヤン島で家を建てるボランティア活動。



#### 沖縄研修発表会

2016年8月21～26日まで、学生19名と教員4名で沖縄へ研修に行き、ホスピタリティ・マネジメントコースの一環として、多摩大学と提携している公立名城大学で観光やオリンピックに関連する授業を受講。研修成果やPRビデオを発表。



#### 橋詰博樹ゼミ主催 ディベート実演

論題「我が国の全ての小学生にスマートフォンを与えるべきだ」について肯定側と否定側に分かれて熱く議論。



インターンシップ発表会

## 「毎日の積み重ねで社会人としてのマナーを身につけて」

2016年9月24日、2016年度のインターンシップに参加した経営情報学部の2・3年生を対象に「インターンシップ発表会」が開催されました。学生たちは1グループ約10名の12グループに分かれ、1人2分程度で「インターンシップ先会社名・業務内容・実習先で学んだこと・感想・今後の課題」を発表し、グループの代表者を決定。各グループの代表者は、全員の前で自分の体験あるいはメンバーの体験を1人5分程度で発表しました。

〈発表内容〉

- マップ制作をメインにイベントツアー同行補助、窓口業務などを体験。ヒアリング調査を行い、わかりやすい飲食と宿泊のマップを制作。調査によりターゲットの目的や実態が当初の予想と異なることがわかり、自分で見聞することの必要性を実感した（観光財団）。
- 食材の計算や補充などはアルバイトでは学べないこと。接客業はお客様が最優先、相手の立場で考えることが大切だとわかった（ホテル業・飲食業）。
- 営業、求人広告誌の記事作成などの業務。営業は気合いや根性が必要だと思った（広告代理店）。
- 社会人基礎力、挨拶、立ち居振る舞いを学べた。次回のインターンシップや社会で活かせればと思う（不動産会社）。
- 介護の現場で高齢者の方への対応を体験。正解がない中で適確な行動が求められ、実力不足を実感。『相手のニーズに応じてどのように行動するか』は、実習生全員に共通した課題（福祉関連）。

浜田正幸教授は、「アルバイトと、社会人として働くことは責任感や姿勢などがかなり違う。社会人としてのコミュニケーション・敬語・マナーは毎日の生活習慣の中で積み重ねて身につけてほしい」と学生たちに伝えました。



グループでインターンシップ体験を発表



代表者が全員の前で発表



浜田正幸教授による講評

多摩“志”企業探検バスツアー

## 多摩“志”企業探検バスツアー同行記

経営情報学部 教授 出原 至道

2016年11月14日、多摩大学経営情報学部の学生11名が、多摩地域の企業3社を訪問し、社長や社員の方々と意見交換する「多摩“志”企業探検バスツアー」が開催されました。この取り組みは、多摩信用金庫の全面的な支援を受けて、学生にあまり知名度が高くない地域の企業の中にも魅力ある企業があること、そのような企業の経営者の志を知ることで学生自身の志の醸成に役立てることを目指しています。対象となった企業は、業務用クリーニング機械の株式会社三幸社、ウイルス対策おしぼりなどのFSX株式会社、道路・鉄道用の信号システムなどの交通システム電機株式会社です。3社とも、しっかりとした技術に根ざして、全国、あるいは世界的にその分野で地位を確立している中堅企業です。

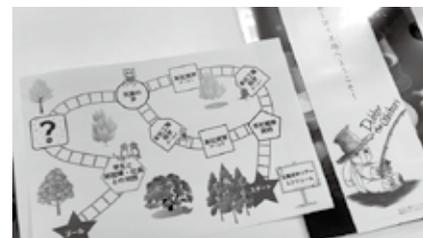
今年度は、初めて「アクティブ・ラーニング実践」の単位の対象となりました。また、私自身もこの活動に参加するのは初めてです。

単位認定科目になったことで、事前の学習・訪問後の報告書の作成に十分な時間を充てることができました。学生たちには「調べて分かることを質問してはいけない」と言い聞かせて送り出しました。各社とも、社長さんが直接学生たちに語りかけてくださいました。また、若手社員の方々が、自分たちの仕事に誇りを持って取り組んでいる様子が伝わってきました。

この成果は、12月10日のアクティブラーニング発表会で発表され、また、報告レポートとしてまとめられる予定です。



若手社員との懇談



FSX株式会社で内製された企業案内パンフレット

学内エアライン講座

## 航空業界への就職を目指す学生のためのエアライン講座を実施

グローバルスタディーズ学部では、ホスピタリティを学んだ人材がホテル業など観光業界に就職し活躍しています。現在湘南キャンパスでは、キャビンアテンダント（CA）やグラウンドスタッフ（GS）への就職を目指す学生を対象に2016年度「学内エアライン講座」が開講中です。講師はCA・GS経験者など業界に詳しいエアラインスクールの先生方が務め、受講生は面接のための心構えや自己PRなど就職対策に必要な知識を学ぶことができます。講座の参加資格は、2018年新生として国内エアラインを第一志望として受験する学生で、1期目の昨年度は14名（男性4名・女性10名）が受講し、2名がCAに内定しました。2期目となる今年度は受講料を有料とし、8名（男性2名・女性6名）が受講しています。

第2回目の11月28日「面接講座」では、言葉づかい、表情、声のトーン、話し方のコツ、会話の方法など面接試験に際して注意すべきことやポイントなど、講師から具体的なアドバイスがありました。CA志望の学生たちは、「明るい雰囲気の中で丁寧に教えてもらえるので楽しい。面接試験で役に立つと思う」「参加することで来年の就職試験に向けてモチベーションが高まった」など皆意欲をもって講座に取り組んでいる様子が見られました。

回	内容
1	立ち居振る舞い講座
2	面接講座（Basic ①）
3	面接講座（Basic ②）
4	面接講座（ビデオ撮影）
5	面接講座（Basic ③）
6	羽田 JAL 機体工場見学
7	自己PR 特訓
8	メイク講座
9	グループディスカッション対策
10	面接講座（模擬面接①）
11	企業研究（講義形式）& ES 添削
12	面接講座（模擬面接② JAL系）
13	面接講座（模擬面接③ ANA系）



面接講座の様子



JAL 機体工場見学（昨年度）

## 経営情報学部 後援会 就職セミナー 開催報告

2016年9月17日、多摩キャンパスにて「経営情報学部 後援会 就職セミナー」が開催されました。第1部 講演、第2部 “就勝” 情報交換会、第3部 ゼミ別懇談会・個別相談会が行われ、多くの保証人の皆様の参加がありました。

### ○第1部 講演

後援会長の米倉裕之様の挨拶のあと、久恒啓一副学長(兼)経営情報学部長による「セミナー開催に際しての挨拶」があり、就職状況、アクティブ・ラーニングや留学プログラムなど大学の最新情報が報告されました。就職活動に関する3つの講演、「多摩大学の就職実績・就職支援体制について」(就職委員長 奥山雅之准教授)・「就職活動最前線」(就職委員 浜田正幸教授)、「キャリア支援相談員が語る就勝へのヒント集」(経営情報学部キャリア支援課 北山四郎相談員)が行われました。教職員からは多摩大

学の就職支援体制や最新の就職情報、学生の相談が多い項目などが伝えられるとともに、保証人の皆様には就活のための身だしなみや交通費など学生への支援のお願いがありました。最後に質疑応答の時間が設けられ、会場との意見交換が行われました。

### ○第2部 “就勝” 情報交換会

会場を「建設/金融・証券/運輸」「情報サービス/流通/ソフトウェア開発」「情報サービス/運輸/流通」の3つの教室に分け、教員および企業に内定した学生たちが、就活についての情報提供や質疑応答など保証人の皆様と熱心に語り合いました。

### ○第3部 ゼミ別懇談会・個別相談会

ゼミ別に各教室に移動して、保証人の皆様とゼミ担当教員が大学やご家庭における学生の生活や就職活動などについて懇談し、また個別相談会も実施され、有意義な情報共有の場となりました。



後援会長 米倉裕之様の挨拶と会場の様子



久恒啓一副学長(兼)  
経営情報学部長



奥山雅之准教授



浜田正幸教授



北川四郎相談員



就勝情報交換会の様子

## News

### 秋季 卒業のつどい

2016年9月17日、経営情報学部「卒業のつどい」が行われ、久恒啓一副学長(兼)経営情報学部長より今年度の秋季卒業生6名に卒業証書が授与されました。久恒副学長は「正岡子規は病床で36年間毎日日記を書き続けた。多摩大学の学園歌を作詞した阿久悠も日記魔で26年間日記を書き続けたからこそ時代の空気を感じとることができた。一つのことを長く続けることは非常に難しいがとても大事なこと。私も毎日ブログを書き続け今日で4372日、これからも書き続けていきたい。皆さんも社会に出て、何か一つのことを続けることができたなら素晴らしい人生となり、大した人物となるでしょう」と祝福の言葉を贈りました。卒業生は「多摩大学で多くの知識を学び、仲間同士で切磋琢磨することにより知恵へと変わり新しい創造を生み出した。かけがえのない仲間と出会えたことは一番の喜び。どのようなときにも多摩大学で学び得た知恵を糧に歩み続けていきたい」と感謝の気持ちを込めて答辞を述べました。全員で学園歌を斉唱、卒業のつどい終了後は卒業パーティーが行われ、卒業生や保証人の皆様と教職員が穏やかな雰囲気の中で歓談しました。



卒業生と教員との集合写真

### グローバルスタディーズ学部 10周年記念シンポジウム

#### 寺島実郎学長基調講演「グローバル化する観光産業の人材育成と活用V」開催

グローバルスタディーズ学部(湘南キャンパス:藤沢市)は、今年度10周年を迎えました。記念事業として、2016年9月29日藤沢商会館ミナパークにおいて、10周年記念シンポジウムを開催しました。本シンポジウムは、観光・ホスピタリティをテーマとする、グローバルスタディーズ学部主催「グローバル化する観光産業の人材育成と活用」の第5弾となります。

始めに安田震一グローバルスタディーズ学部長による挨拶と「名城大学(沖縄県) 研修報告」、続いて鈴木恒夫 藤沢市長よりご挨拶があり、最後に寺島実郎学長による基調講演「時代認識と観光・ホスピタリティ～湘南・藤沢のインバウンド戦略～」を行いました。

多摩大学は、藤沢市、藤沢市観光協会と昨年11月に観光連携等協力協定を締結しており、本学の今後の取り組みや構想をもとに、湘南・藤沢のインバウンド戦略について説明しました。また、2020年を視野に入れた教育機関としての従来からの英語教育、コミュニケーション力向上のための教育とともにインバウンドに対する「おもてなし」、ホスピタリティについての本学の積極的取り組みについて紹介。今から2020年に向けて地元のオリンピック開催地としてのアウェアネス(認識・意識)を早急に高める必要があり、本学はテストマッチ(2018年)、プレオリンピック(2019年)そして2020年の東京オリンピック・パラリンピックをサポートするための観光関連科目や「スポーツとオリンピック」をテーマにした科目導入を視野に入れ、人材育成をおこなっています。シンポジウムでは、これらの取り組みをもとに、観光・ホスピタリティ、そして、湘南・藤沢のインバウンド戦略について皆様とともに考えていく機会となりました。



寺島実郎学長による基調講演

## 第41回全国経営学部長会議 開催報告

2016年9月9日、「第41回全国経営学部長会議」が東京駅丸の内丸ビル8階で開催されました。統一テーマは「経営実学教育」、今年度の幹事校である多摩大学では教職員が力を合わせて準備を行い、全国76会員大学から51名の経営学部長等の参加がありました。会議は5部構成の充実した内容で、開催に際しては企画運営の教職員、登壇者他、本学経営情報学部教授陣、グローバルスタディーズ学部 安田震一学部長および教職員が参加し、会議は成功裡に終了しました。

### 〈第1部〉全国経営学部長会議 第41回会員総会

総会司会は本学 杉田文章経営情報学部事業構想学科長が務めました。久恒啓一副学長(兼)経営情報学部長による開会挨拶の後、会員総会では「次期幹事校の選出」「入退会届出大学の承認」「第40回会議収支決算(案)の承認」「第42回会議収支予算(案)の承認」「その他」について審議承認されました。

### 〈第2部〉講演と散策

三菱地所株式会社による講演「丸の内開発物語」、その後、昼食・休憩時間に参加者は大手町・丸の内・有楽町地区の散策を楽しみました。

### 〈第3部〉講演



久恒啓一副学長(兼)経営情報学部長の挨拶



寺島実郎学長の講演



教員による講演と会場の様子



懇親会の様子

寺島実郎学長による基調講演「現代の実学」、久恒啓一副学長(兼)経営情報学部長による講演「経営実学教育の進化と深化」、卒業生経営実学実践者講演として、中田将来氏(スターフリースホールディングス株式会社 代表取締役社長)による「グローバルビジネスの現場から」、小松真実氏(ミュージックセキュリティーズ株式会社 代表取締役)による「カルチャービジネスの現場から」が行われました。

### 〈第4部〉多摩大学教員報告

「経営実学教育への取り組みと展望」をテーマに、本学教員が「多摩グローバル人材とアクティブ・ラーニング(以下AL)」(金美徳教授)、「地域中堅企業を訪問し就職の選択肢を広げるAL」(奥山雅之准教授)、「済州フォーラム アジアダイナミズム研修を通じたAL」(趙佑鎮教授)、「日本伝統文化体験でグローバルに目を開くAL」(中村その子教授)、「ビッグデータを活用したAL」(久保田貴文准教授)について報告をしました。

### 〈第5部〉懇親会・情報交換会

学校法人田村学園 田村嘉浩理事長挨拶の後、次期開催校の文京学院大学 櫻井隆経営学部長による乾杯の挨拶で懇親会が始まり、参加者間でより具体的な情報交換が行われました。

## 藤沢市・昆明市友好都市提携35周年記念事業

2016年11月3日～8日まで、安田震一学部長をはじめとするグローバルスタディーズ学部の教職員3名が「藤沢市・昆明市友好都市提携35周年記念事業」に参加し、昆明を訪問しました。本学部の位置する藤沢市は、中国雲南省の省都である昆明市と姉妹都市を提携しています。今回は提携が35周年を迎えたことを記念して、藤沢市から公式訪問団・市民訪問団(6団体)が派遣されました。本学部教職員も、藤沢商工会議所のメンバーが参加する海外経済研修視察団の団員として、記念事業に参加してきました。

昆明は400万人の人口を擁する大都市であり、1年をとおして気候がよく、中国のなかでも過ごしやすい都市として知られています。街路には花が咲き乱れ、「春城」とも呼ばれています。また、雲南省には中国55の少数民族のうち25民族の人々が生活しており、他の都市とは違う少数民族の多様な文化に触れることもできます。さらに、近年は自動車道、鉄道、飛行機、船などの輸送体系が整備され、雲南省は中国国内と東南アジアを繋ぐ重要な玄関口となっています。

そもそも、なぜ藤沢と昆明が姉妹都市になったかという、それは、中国の国歌「義勇軍行進曲」を作曲した昆明出身の聶耳(ニエアル)という人物が、鶴沼海岸で遊泳中に23歳という若さで帰らぬ人となったことに端を発しています。彼の死を悼んだ藤沢の人々が、記念碑を建てるなど手厚い慰霊が続けたことが友好関係を築ききっかけとなりました。

今回の訪問では、35周年記念式典・パーティ、昆明市博物館

### グローバルスタディーズ学部 専任講師 田中 孝枝

での日中文化交流展、聶耳墓参拝などをとおして、昆明の人々とさらなる交流を深めることができました。日中間の政治的関係は鋭く対立することもあります。草の根の交流は二つの地域で生活する人々の真摯な想いによって続けられており、その結果として今回の35周年があることを改めて実感しました。本学部は、昨年11月に藤沢市・藤沢市観光協会と観光連携等協力協定を締結しましたが、観光はもちろん、様々な分野で地域の一員としての役割を果たせるよう、邁進していきたいと思っております。

また、昆明では2つの大学を訪問しました。印象的なのは、文化的に多様なキャンパスの雰囲気です。少数民族の学生も多く、また近年は特に、東南アジア・南アジアとの結びつきを強めているため、留学生にはそうした地域出身の学生の割合が高くなっています。彼らは互いの文化や言語を学び、その経験を活かして両地域の交流を力強く推し進めていくことなのでしょう。昆明は、中国や東南アジア諸都市の急成長するエネルギーを感じることもできる場所です。本学の学生にも、是非こうした現代アジアのダイナミズムを体感するような経験をしてほしいと思っております。



聶耳墓を参拝する鈴木恒夫市長ら



35周年記念パーティの様子